

報道発表資料
平成28年3月8日
気象庁

きめ細かな気象状況がわかるようになります ～「推計気象分布」の提供開始～

気象庁は、日本全国の最新の気象状況（気温及び天気）の分布を面的に把握できる「推計気象分布」の提供を、平成28年3月15日（火）9時から開始します。

気象庁では、気温や天気等の観測を全国の気象台等で実施し、観測データを提供しています。

新たに提供を開始する「推計気象分布」では、このデータに加え、気象衛星「ひまわり8号」や気象レーダーによる観測データ等を活用することにより、最新の気温及び天気の分布を1時間ごとに、約1km四方の細かさで提供します。

この「推計気象分布」を利用すると、夏季における高温域の広がりや、冬季における雨と雪の分布などを容易に、きめ細かく把握できるようになります。

【気象庁ホームページでの掲載ページ】

<http://www.data.jma.go.jp/obd/bunpu/index.html>

(3月15日9時からご利用いただけます)

【提供開始日時】

平成28年3月15日（火）9時

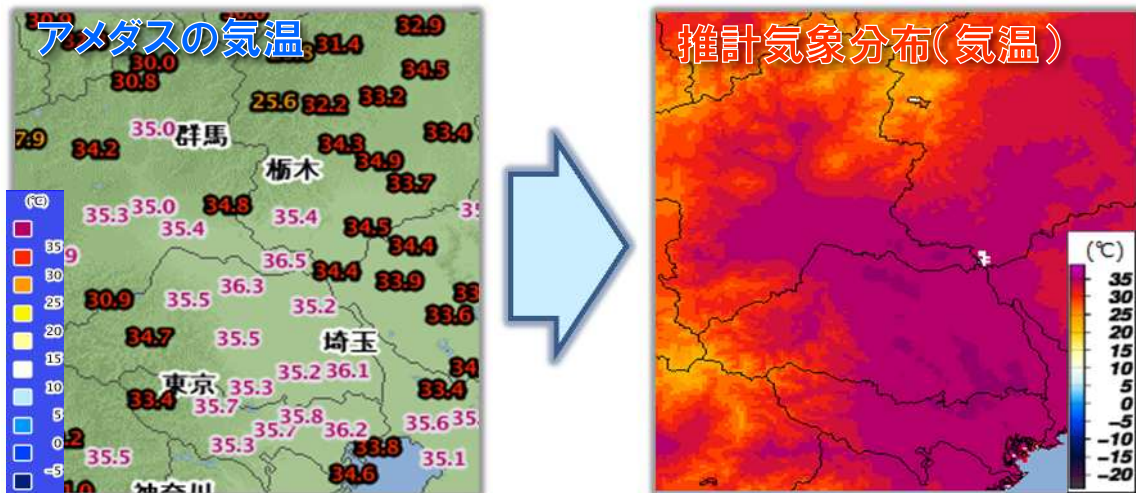
【本件担当】 気象庁観測部観測課観測システム運用室

電話 03-3212-8341（内線4172）

推計気象分布の例

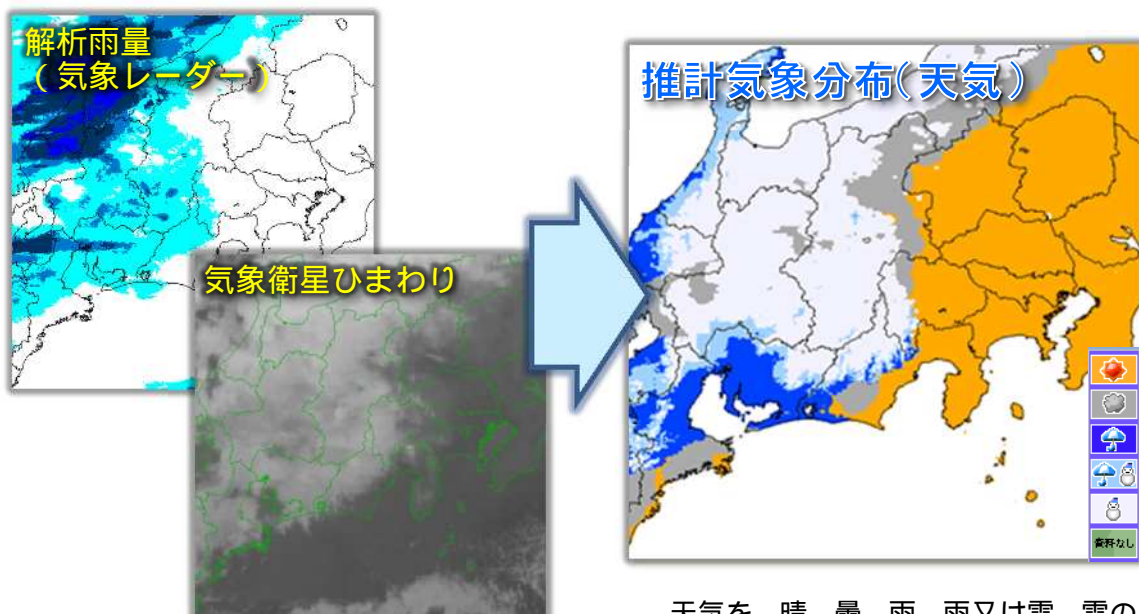
気温の広がりがきめ細かくわかります。

例えば夏の日中には、猛暑となっている地域の広がりや、特に気温の高い地域がどのように分布しているか、一目でわかります。



天気の違いや、雨と雪の分布がわかります。

晴れや曇りの範囲だけでなく、冬には雨と雪の分布が一目でわかります。



天気を、晴、曇、雨、雨又は雪、雪の5種類に分類し、表示します。